

取扱説明書

スマートフォンリンク アプリケーションコントロールメインユニット

SPH-DA05



ご購入いただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。
- ▶ 本機のより詳しい取扱・操作方法については、ユーザーズガイドで確認することができます。ユーザーズガイドは、当社ホームページ < <http://pioneer.jp/> > の「お客様サポート」→「取扱説明書ダウンロード」からPDF形式で閲覧・ダウンロードすることができます。
 - ※ PDF ファイルを閲覧するには、最新版の Adobe Reader が必要です。
 - ※ ユーザーズガイドは、WEB でのみの対応とさせていただきます。




安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
 注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。	 必ず行っていただく強制の内容です。
 禁止 (やってはいけないこと) の内容です。	

MN-001-001

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V \oplus アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットは絶対には使用しない

これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

警告



禁止

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

作業前はバッテリーの \ominus 端子を外す
 \oplus と \ominus 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前には、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。



警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。



注意



禁止

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしな

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法



警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない
前方不注意となり交通事故の原因となります。

速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない

リアモニターの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。

警告



禁止

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない

やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

注意



指のケガに

注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する

ケガの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

目次

お使いになる前に

ご使用前に知っておいていただきたいこと 6

基本操作

本機の基本操作を覚えよう	7
各部の名称とおもな働き	7
基本的な操作のしかた	8
HOMEメニューを表示させる	9
モニターの画質を調整する	11
アプリケーションの使いかたを覚えよう	12
Androidをお使いの場合	12
iPhoneをお使いの場合	12
アプリケーションを使う	13

オーディオ

音楽や映像を楽しもう	14
基本的なAVソースの操作	14
AVソースをOFFにする	15

ハンズフリー

ハンズフリー通話を試みよう	16
スマートフォンを登録する	16
ハンズフリー通話をする	17

困ったときは

故障かな?と思ったら	19
共通項目	19
オーディオ共通項目	20
FM/AM	20
iPod	20
エラーメッセージと対処方法	21
共通項目	21

付録

取り扱い上のご注意	22
液晶画面の正しい使いかた	22
iPodに関するご注意	22
電波に関するご注意	23
保証書とアフターサービス	24
保証書	24
保証期間	24
修理について	24
補修用性能部品の最低保有期間	24
ご質問、ご相談は	24
仕様	25
商標・著作権など	26

ご使用前に知っておいていただきたいこと

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっているときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。



- 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

バッテリーを外すときのご注意

点検などでバッテリーを外すと、次の内容が工場出荷時の設定に戻ります。必要な情報は事前に控えておいてください。

- 画質調整
- オーディオ設定の内容
- ラジオ、交通情報のプリセット内容
- 各AVソースの再生モード

など

液晶画面について

液晶画面は、その構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、画質調整で黒の濃さを調整してください。(→P11) 液晶画面自体の明るさや色温度なども変更できます。お好みに応じて調整してください。

本機と接続可能なスマートフォンについて

ドコモスマートフォン(アンドロイド)とiPhone(ソフトバンク/au)に対応しています。

最新の対応機種は、カロッツェリアホームページをご覧ください。

(<http://pioneer.jp/carrozzeria/support/splink/>)

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。登録は弊社ホームページにて可能です。下記のURLにアクセスして登録を行ってください。

<http://pioneer.jp/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

お客様が保存されたデータについて

本機に登録された各種設定などの内容は、事故や故障・修理・その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、インターネットからご登録いただいたお客様にいたしますので、必ず登録をしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店を窓口として実施しておりますが、移動先や引越などにより、お買い上げ販売店に修理が依頼できない場合には、修理受付窓口(沖縄県のみ、沖縄サービス認定店)へご相談ください。

オートアンテナ車のご注意

本機をオートアンテナ車(モーターアンテナ車)に取り付けた場合、Bluetooth接続されたスマートフォンの発着信時およびAVソースやアプリのONに連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

その他

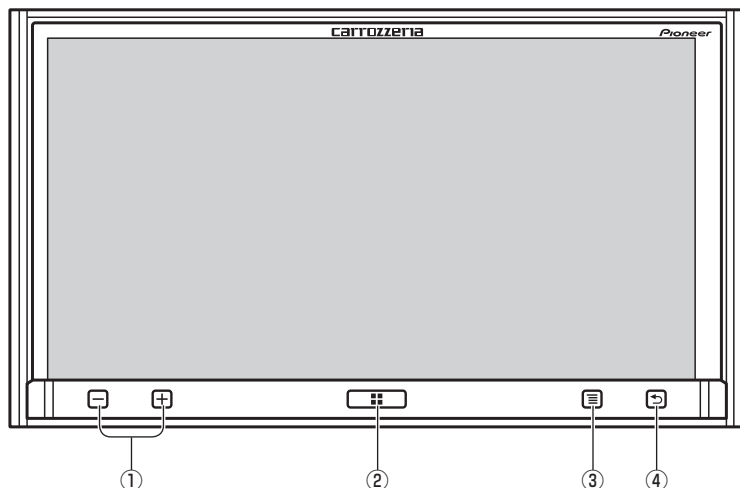
- 弊社は、本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。
- 説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

本機の基本操作を覚えよう

各部の名称とおもな働き

本体、マイクの各部の名称と働きを説明します。

本体



① (音量調整) ボタン

オーディオの音量を調整します。

② (HOME) ボタン (→P9, 11～17)

HOMEメニューを表示します。
HOMEメニューでは各AVソースの選択や設定画面の表示などができます。

また、続けて2回押すと、再生中のAVソースを操作できるコントロールバーが表示されます。



③ (メニュー) ボタン

Android™ OS搭載スマートフォン（以降Android）を接続した際、操作画面で利用できるメニューを表示します。

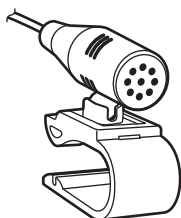
④ (バック) ボタン

Android接続時、1つ前の画面に戻ります。



- Androidを接続していないと、 ボタンと ボタンは機能しません。（押すと、メッセージが表示されます。）

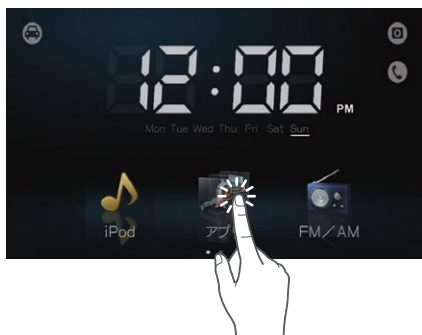
ハンズフリー用マイク



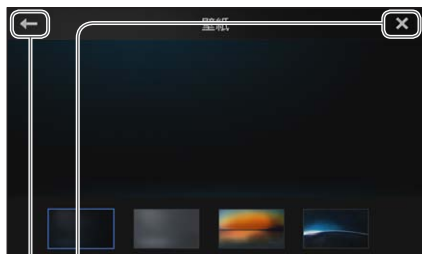
本機にスマートフォンをBluetooth接続して、ハンズフリー通話を行う場合は、ハンズフリー用マイクに向かって話します。

基本的な操作のしかた

本機は、画面上に表示されるマークや項目（操作タッチキー）に直接指でタッチして操作します。



メニュー画面



終了
操作を終了し、HOMEメニューまたは1つ前の画面に戻ります。

戻る
1つ前の画面に戻ります。

リスト画面



リスト項目
目的の項目を選んでタッチします。

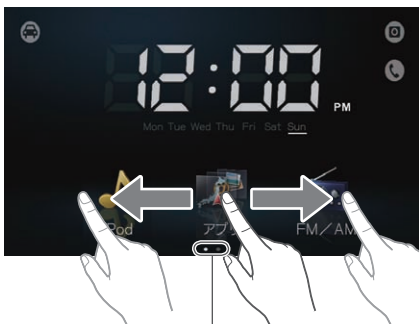
リストバー
リスト項目量の目安とリストの現在位置を示します。

ページ送りタッチキー
タッチするとリストをページ送りします。

また、画面を軽く払うように指を動かすことで、ページや項目の移動が可能です。（フリック操作）

フリック操作ができない画面もあります。

例) HOMEメニュー



ページマーク
現在のページ位置を示します。



- リスト項目は、上下にフリック操作ができます。ただし、一部のリスト（設定メニューの各設定項目など）では、できません。

HOMEメニューを表示させる




HOMEメニューは、2ページあります。ページの切り換えはフリック操作 (→P8) で行います。

1 ボタンを押す

HOMEメニュー (1 ページ目) が表示されます。


時計/カレンダー



時計/カレンダー	タッチすると、時計とカレンダーの調整画面が表示されます。
iPod	iPodの音楽を聴いたり、映像を見たいときに選びます。
アプリ	スマートフォンにインストールしたアプリケーションを本機側で、表示・操作したいときに選びます。(→P12)
FM/AM	ラジオ放送を聞きたいときに選びます。
	幹線道路などで放送されている交通情報を聞きたいときに選びます。
	別売のバックカメラユニットの映像を表示したいときに選びます。(リアビューモード) リアビューモード中に画面にタッチすると、元の画面に戻ります。元の画面がAVソース画面の場合、何も操作しないと約7秒後にリアビューモードに戻ります。 リアビューモードを解除するには、もう一度  にタッチしてください。

 本機とスマートフォンをBluetooth接続したいときやハンズフリー通話をしたいときに選びます。



- 機器を接続していなかったり、再生の準備ができていないAVソースは選択できません。
-  はカメラ極性設定 (→P11) がOffの場合、選択できません。
- 別売のバックカメラユニットの映像は、車のシフトレバーをR(リバース)に切り換えたときにも表示させることができます。詳しくは『取付説明書』をご覧ください。

2 左にフリックする



HOMEメニュー (2ページ目) が表示されます。

1ページ目に戻るときは右にフリックしてください。



設定	設定メニューを表示したいときに選びます。(→P10)
OFF	AVソースやアプリをOFFにしたいときに選びます。(→P15)

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

困ったときは

付録

映像OFF	夜間、画面がまぶしい場合など、一時的に画面を消したいときに選びます。画面にタッチすると、元の画面に戻ります。
--------------	--

設定メニュー

設定メニューでは、AVソースの音質の設定、画質調整、バックカメラの映像信号設定や、接続状態の確認などが行えます。

オーディオメニュー

カスタムメニュー登録済みマーク



設定項目

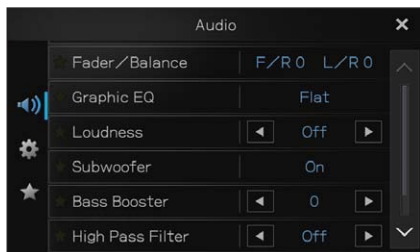
カスタムメニュー

よく使う設定項目として登録したリストを表示できます。各設定項目を、カスタムメニュー登録済みマーク(★)が点灯するまで長く押すことで登録できます。登録を解除する場合は、カスタムメニュー登録済みマーク(★)が消灯するまで長く押しします。

システム設定

オーディオメニュー

オーディオの音質設定ができます。



Fader/Balance (リアスピーカー設定で「フルレンジ」選択時)	前後左右の音量バランスを設定できます。
Balance (リアスピーカー設定で「サブウーファー」選択時)	左右の音量バランスを設定できます。
Graphic EQ	あらかじめ用意された5つの設定とお好みに調節した設定からイコライザーカーブを選ぶことができます。
Loudness	小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にできます。
Subwoofer	サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。
Bass Booster	サブウーファーから出力される低音域の増強効果を設定できます。
High Pass Filter	選んだ周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。
Source Level Adjuster	AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。

システム設定

本機の動作設定ができます。また、各種情報を確認できます。



リアスピーカー設定	接続するリアスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法が設定できます。
タイトルスクロール	AVソースのリスト画面時のタイトルスクロールを常時または1回のスクロールに設定できます。
Bluetoothメモリクリア	Bluetooth設定の内容を消去できます。

Bluetoothソフトウェアアップデート	Bluetoothソフトウェアをアップデートする際に使用します。
Bluetoothバージョン情報	Bluetoothのバージョン情報を表示できます。
カメラ極性設定	別売のバックカメラユニット接続時に、車の後方の映像を表示できるように設定できます。
映像信号設定	バックカメラの映像信号を設定できます。
画質調整	周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて画質を調整できます。(→P11)
MIX音声レベル	アプリ(→P12)の音声と、AVソースの音声を同時に出力(MIX音声)する際の音量を設定できます。
時計表示	HOMEメニューの時計/カレンダーの表示形式を12時間表示と24時間表示から選べます。
壁紙	HOMEメニューなどの背景画面を設定できます。
システムリセット	設定した内容を消去して、工場出荷時の状態に戻すことができます。
取り付け状態	GPSアンテナの接続状態や受信感度と測位状態、取り付け位置の確認や車速パルス、電源電圧、バック信号の状態などが表示できます。
センサー学習状況	センサーの学習状況を確認できます。
放送局選択	同じ周波数でも、地域により受信する放送局が違うことがあります。本機には、あらかじめ放送局名が登録されています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なる場合は、放送局名を変更することができます。

■ モニターの画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「明るさ」、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「ディマー」、「色温度」を調整できます。調整は、バックカメラの映像と各AVソースそれぞれで行えます。

1 ボタンを押し、設定- 画質調整にタッチする

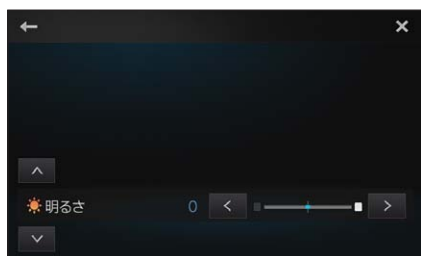


2 調整したい項目にタッチする



バックカメラ / ソースにタッチすると、調整範囲をバックカメラまたはAVソースに切り換えられます。

3 または にタッチする



 /  で調整項目を切り換えられます。

4 にタッチする

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

困ったときは

付録

アプリケーションの使いかたを覚えよう

スマートフォンと本機を接続することにより、スマートフォンにインストールされているアプリケーションを、本機の画面に表示することができます。

また、本機対応のアプリケーションの場合は、本機でアプリケーションを操作することもできます。



- スマートフォンやアプリケーションの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。
- スマートフォンを本機に接続するには、お使いのスマートフォンにあわせた接続ケーブル（別売）が必要です。→『取付説明書』
- iPhoneとAndroidを同時に接続することもできます。同時に接続した場合、本機で操作できるのはAndroidとなります。

■ Androidをお使いの場合

1 アプリケーション （『Linkwith』) をインストールする

Google Playよりダウンロードできます。

2 ケーブル接続を行う

3 本機またはAndroidから Bluetooth設定を行う

本機から行う場合：

「ハンズフリー通話をしてみよう」－「スマートフォンを登録する」(→P16) をご覧ください。

Androidから行う場合：

『Linkwith』の設定メニューよりBluetooth設定マニュアルをご覧ください。

■ iPhoneをお使いの場合

1 アプリケーション （『Linkwith』) をインストールする

App Storeよりダウンロードできます。

2 ケーブル接続を行う

アプリケーションを使う

1 [アプリケーション] ボタンを押し、**アプリ**にタッチする



- 本機とBluetooth接続していないスマートフォン (Android) を接続し、**アプリ**にタッチした場合は、Bluetooth接続を促すメッセージが表示されます。**設定**にタッチするとBluetooth設定メニューが表示されます。本機でアプリケーションを操作する必要がない場合は、**無視**にタッチしてください。その後画面にタッチすると、最後に接続したスマートフォンとの再接続が行われます。(接続状況は表示されません。)

2 使いたいアプリケーションにタッチする



アプリケーションが起動します。

以降は、アプリケーションに応じて操作してください。



- 使いたいアプリケーションを変更する場合は、[アプリケーション] ボタンを押して手順2の画面に戻ってください。再度 [アプリケーション] ボタンを押すと、HOMEメニューに戻ります。
- 本機で対応していないアプリケーションについては、スマートフォンを操作してアプリケーションを起動させてください。
- [アプリケーション] にタッチすると、アプリケーションのアイコンを拡大表示します。

音楽や映像を楽しもう

ラジオやiPodなどの音源や映像のことを「AVソース」と呼びます。

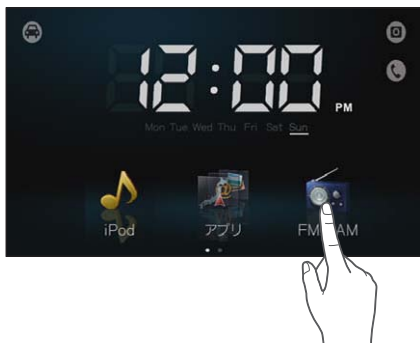
基本的なAVソースの操作

ラジオ (FM) ソースを例に説明します。



- 選んだAVソースによって、操作方法や表示されるタッチキーは異なります。

1 ボタンを押し、FM/AMにタッチする



リスト項目



FM1 / AM1 バンドを切り換えます。

リスト項目 選択した放送局にタッチすると、その放送局の放送を受信します。長くタッチすると、プリセットメモリーに登録されます。

BSM 受信状態の良い放送局を自動的に登録してリスト表示します。



周波数を順に送ります。長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、受信すると止まります。

2 ボタンを2回押す

コントロールバーが表示されます。



コントロールバー



画面が一時的に消えます。もう一度画面にタッチすると、元の画面に戻ります。




放送局を選びます。



バンドを切り換えます。



iPodソースの場合は、が表示され一時停止をします。



一時停止中にもう一度タッチすると、再生を再開します。




アプリ (→P12) の音声と、AVソースの音声を同時に出力することができます。



音声をミュート (消音) します。もう一度タッチすると、ミュートを解除します。



- コントロールバーは、AVソース画面以外でも表示させることができます。(設定メニューなど一部対象外の画面もあります。)
- コントロールバーを消すときは、画面にタッチするか、 ボタンを押します。

iPodビデオについて

iPodビデオを再生すると、はじめに映像画面のみが表示されます。映像画面にタッチすることで、操作タッチキーを表示させることができます。



- 何も操作しないと、約7秒後に自動的に映像画面に戻ります。
- 操作タッチキーを消すには、背景の映像(タッチキー以外の表示)、または **X** にタッチしてください。

AVソースをOFFにする

1  ボタンを押し、左にフリックする

2  にタッチする

▼
AVソースがOFFになります。

ハンズフリー通話を試みよう

Bluetooth接続されたスマートフォンと付属のハンズフリー用マイクを使って、ハンズフリー通話をすることができます。



- Bluetooth対応のスマートフォンをご用意ください。ただし、機種によっては本機との接続に制限が発生する場合がありますのでご注意ください。
- スマートフォンから本機を登録・接続する必要がある場合は、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンを登録する

ハンズフリーに使うスマートフォンを本機に3台まで登録できます。あらかじめお使いになるスマートフォンのBluetooth機能をONにしてください。→スマートフォンの「取扱説明書」

1 [設定] ボタンを押し、[Bluetooth] にタッチする



2 [設定] にタッチする



3 [機器登録/削除] にタッチする



4 [検索] にタッチする



▼
周辺のBluetooth機器を検索してリスト表示します。

5 登録するスマートフォンにタッチする



6 スマートフォンを操作してパスキーを入力する



以上で、登録完了です。



- スマートフォンによっては、パスキーの入力が不要な場合もあります。
- 上記操作で登録できない場合は、スマートフォン本体から本機を登録するか、手順3の画面で**特別接続機器**にタッチしてください。→『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法は、本書の表紙をご覧ください。)

ハンズフリー通話をする

電話のかけかた

1 [] ボタンを押し、[] にタッチする



2 発信方法を選んでタッチする



	ダイヤル画面が表示されます。発信先の電話番号を入力して [] にタッチします。
	スマートフォンの電話帳を表示します。発信相手を選んでタッチし、 [] にタッチします。
	発信履歴、着信履歴、不在着信履歴のリストを表示します。発信相手を選んでタッチし、 [] にタッチします。
	スマートフォンごとに、よく連絡する発信相手を6件まで登録できます。



- スマートフォン本体を操作して発信することもできます。

お使いになる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

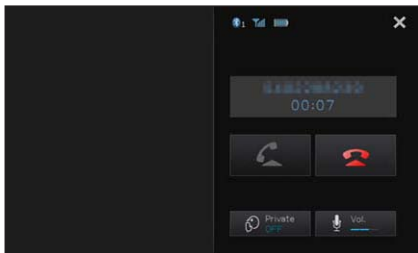
困ったときは


付録

電話の受けかた

1 電話を着信したら、にタッチする

▼
通話が可能になります。



	電話を切ります。
Private	ハンズフリー機能をON/OFFします。スマートフォンで通話したいときは「ON」にしてください。
Vol.	受話音量を3段階で調整できます。



- スマートフォン本体を操作して電話を切ることもできます。

故障かな？と思ったら



修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、「保証書とアフターサービス（→P24）」をお読みになり修理を依頼してください。

共通項目

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
電源が入らない、動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> エンジンがかかっていない。 → エンジンまたはACCをONにしてください。 ヒューズが切れている。 → ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 接続ケーブルが正しく接続されていない。 → 接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。→「取付説明書」 周囲の温度が極度に低いまは高い。 → 本機には、使用温度範囲（→P25）があります。使用温度範囲になるまで、エアコンなどで温度を調節してください。
画面に何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> 映像OFF状態になっている。 → 画面にタッチして、映像OFFを解除してください。
画質調整ができない。	<ul style="list-style-type: none"> パーキングブレーキをかけていない。 → パーキングブレーキをかけてください。
画面に小さな黒い点や明るく光る点がある。	<ul style="list-style-type: none"> 液晶特有の現象で、故障ではありません。
画面の残像が目立ったり、画質が劣化して見える。	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の温度が極端に低い。 → 周囲の温度が高まると通常画質に戻ります。
タッチキーの表示が薄く、タッチしても反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> 走行規制などで、走行中は操作できないタッチキーである。 → 車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。 設定や接続状況などにより、操作できないタッチキーである。 → 本書や取付説明書またはユーザーズガイド（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書の表紙をご覧ください。）で設定や接続状態を確認してください。
自車位置を測位できない。	<ul style="list-style-type: none"> GPSアンテナの上に電波をさえぎる物が置いてある。 → GPSアンテナの上には何も置かないでください。
測位誤差が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> 3Dハイブリッドセンサーが正しく学習されていない。 → 3Dハイブリッドセンサーのメモリーをリセットして、学習をやり直してください。→「ユーザーズガイド」（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書の表紙をご覧ください。）
自車位置が正しくない。	<ul style="list-style-type: none"> 自車位置がずれている。 → GPS測位が可能な状態で、しばらく走行すると自車位置が修正されます。 →「取付説明書」 車速パルスが正しく入力されていない。 → 取り付け状態画面で、接続状態を確認してください。→「取付説明書」
Bluetoothを使ってスマートフォンと接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンを登録していない。 → 接続したいスマートフォンを本機に機器登録してください。（→P16） 接続していたスマートフォンを別のスマートフォンに変えた。 → 変えたスマートフォンを本機に登録するか、登録済みのスマートフォンに変えた場合はスマートフォンの切り換え操作を行ってください。→「ユーザーズガイド」（ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書の表紙をご覧ください。）

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
ハンズフリー通話時に、通話相手側のエコー(残響音)が大きく聞こえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通話相手側の声(スピーカーからの音声)がマイクに入り込んでいる。 → エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生するため、受話音量を小さくすることで改善できます。ただし、本機のしくみ上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で喋るとさらに聞き取りにくくなりますので、普通の大きさの声で通話してください。

オーディオ共通項目

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
走行中、iPodビデオなどの映像が見られない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ パーキングブレーキコードを接続していない。 → パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。本機は、安全のため走行中にiPodビデオなどの映像を見ることができません。映像をご覧になる場合は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけて、お楽しみください。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ オーディオの音量が0になっている。 →  /  ボタンを押して、音量を調整してください。(→P7)
前/後/左/右のスピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前後左右の音量バランスの調整が適切でない。 → 正しく調整・設定してください。⇒『ユーザーズガイド』(ユーザーズガイドの閲覧方法については、本書の表紙をご覧ください。)
映像がギザギザに表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。

FM/AM

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放送局の電波が弱い。 → 他の放送局を選局してください。(→P13) ・ 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 → 受信状態の安定した場所に移動して、受信してください。
自動選局できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 強い電波の放送局がない。 → 手動で選局してください。(→P13)
FMは受信するが、AMが受信できない。受信感度が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車のアンテナが伸びていない。 → アンテナを十分に伸ばしてください。 ・ アンテナコントロールが接続されていない。 → ガラスアンテナ、ルーフアンテナ車の場合、車側のオートアンテナのコントロール端子にアンテナコントロール端子を接続してください。→[取付説明書]

iPod

こんな症状のとき	考えられる原因とその処置
接続できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続ケーブルが正しく接続されていない。 → 接続ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。→[取付説明書] ・ お使いのiPodが本機に対応していない。 → 対応iPodについては、カロッツェリアホームページ (http://carrozzeria.jp) でご確認ください。
ビデオが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続しているiPodがビデオ機能に対応していない。 → ビデオ機能に対応したiPodでないと、ビデオはご覧になれません。 ・ 接続したiPodとの認証に失敗した。 → 再度、接続し直してください。

エラーメッセージと対処方法

■ 共通項目

エラーメッセージ	考えられる原因とその処置
走行中は操作できません。 この機能は走行中利用できません。	・ 走行規制のかかった操作を行おうとした。 → 車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

お使用になる前に

基本操作

オーディオ

ハンズフリー

困ったときは

付録

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障があることがあります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→「仕様」(P25)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面を強く押さないでください。故障する恐れがあります。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- スマートフォンをお使いになるときは、スマートフォンのアンテナを液晶画面に近づけないでください。画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。
- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点(輝点)が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

LED バックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- 真夏の炎天下や、エアコンの温風が直接モニター部に当たってモニター部が高温状態になると、LED保護のため、自動的にバックライトの明るさを絞る場合があります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。

- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口(沖縄県のみ沖縄サービス認定店)にご連絡ください。

お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- ぬれたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

iPodに関するご注意

取り扱い上のご注意

- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

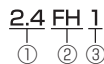
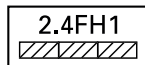
著作権について

- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - * 分解/改造すること。
 - * 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。
- 本機の無線機能は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線LAN機器など）が使用していますので、電波の干渉により、本機の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。
 - * 無線LANを利用したAV機器・防犯機器などを使用している環境で、本機の無線機能を使うと、声のとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも、2.4GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - * 火災報知機・ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
 - * 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - * マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー

- * 自動ドア・万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- * 自動制御機器・その他、Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通網システム）
- * アマチュア無線局など



- ① 「2.4」GHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② 「FH」変調方式を表します。
- ③ 「1」想定される与干渉距離（約10m）を表します。

本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

保証書とアフターサービス

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。

記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

■修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、お願いいたしております。なお、修理の際の本製品のお車からの脱着サービスは弊社で承っておりません。お車からの脱着については、お買い上げの販売店や取り付け店へご相談ください。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

◆共通部

使用電圧：DC14.4 V
(10.8 V～15.1 V使用可能)

最大消費電流：10 A
アース方式：マイナスアース方式
使用温度範囲：-10℃～+60℃

◆GPS部

受信方式：
50チャンネルマルチチャンネル受信方式

◆オーディオ部

最大出力：50 W×4
負荷インピーダンス：4 Ω
(4 Ω～8 Ω使用可能)

プリアウト最大出力レベル：1.5 V

イコライザー

(5バンドグラフィックイコライザー)：

周波数：100 Hz/315 Hz/125 kHz/
3.15 kHz/8 kHz

調整幅：±12 dB (2 dB/step)

カットオフ周波数：

ハイパスフィルター：

50 Hz/63 Hz/80 Hz/100 Hz/125 Hz

ローパスフィルター (サブウーファー)：

50 Hz/63 Hz/80 Hz/100 Hz/125 Hz

サブウーファー位相：NORMAL/REVERSE

◆FMチューナー部

受信周波数帯域：76.0 MHz～90.0 MHz
音声：ステレオ

◆AMチューナー部

受信周波数帯域：522 kHz～1 629 kHz (9 kHz)
音声：モノラル

◆モニター部

画面サイズ：7V型ワイドVGA

画素数：1 152 000画素

[水平800×垂直480×3 (RGB)]

方式：TFTアクティブマトリクス方式

バックライト：LED光源

表示色数：26.2万色

◆Bluetooth部

Bluetoothバージョン：Bluetooth2.1+EDR

出力：+4 dBm (Power class2)

◆外形寸法

本体取付寸法：

178 (W) mm×100 (H) mm×168 (D) mm

本体ノーズ寸法：

171 (W) mm×97 (H) mm×16 (D) mm

GPSアンテナ：

33 (W) mm×36 (H) mm×14.7 (D) mm

◆質量

本体：1.5 kg

◆付属品

GPSアンテナ：一式*

取付キット：一式*

コード類：一式*

ハンズフリー用マイク：1

取扱説明書：1

取付説明書：1

保証書：1

※接続・取り付け部品の詳細につきましては、『取付説明書』をご覧ください。

商標・著作権など

- 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。



11D12-0023001

- 本機内蔵の通信モジュールは、電波法に基づく設計認証を取得した特定無線設備 (FC6000S) を使用しています。
FC6000S



005WWDA0428

- AndroidはGoogle Inc.の商標です。
- Google PlayはGoogle Inc.の商標です。
- iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPod は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Made for



iPod



iPhone

- 「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、それぞれiPodあるいはiPhone専用接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリをiPodあるいはiPhoneと使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- Bluetooth ワード マーク および ロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。



- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interfaceという用語、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国その他の国々における商標または登録商標です。

- MHL, MHLロゴおよびMobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国におけるMHL LLCの登録商標または商標です。

- MHL 1対応
- 本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.5.0, January 6, 2011, are Copyright (c) 2004, 2006-2010 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Giles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg" (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
January 6, 2011

- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- お客様が録音（録画）したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 弊社は、本製品に収録されたデータなどが完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用頂けません。
- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる **FAX** フリーコール および **☎** フリーコールは、携帯電話・PHS一部のIP電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・IP電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

●カーオーディオ/カーナビゲーション商品

電話: **FAX** 0120-944-111 【一般電話】044-572-8101 FAX: 044-572-8103

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかを確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口(沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **FAX** 0120-5-81028 カーバイオニア 【一般電話】044-572-8100 FAX: **FAX** 0120-5-81029

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店(沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: 【一般電話】098-987-1120 FAX: 098-987-1121

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: **FAX** 0120-5-81095 【一般電話】044-572-8107 FAX: **☎** 0120-5-81096

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.045

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2012

< KFWFX > < 12C00001 > < CRA4532-B/N >